

表6 予算に占める補助金の割合

補助率%	市町村別			
	市	町	村	計
10未満		1	2	3
10～20		3	1	4
20～30		4	1	5
30～40			2	2
40～50		4	2	6
50～60		6	3	9
60～70	1	2	6	9
70～80	2	8	2	12
80～90	3	12	5	20
90～100	3	4	1	8
100	1	3	2	6
計	10	47	27	84

予算額千円	市町村別			
	市	町	村	計
200未満	1	4	5	10
200～300		7	6	13
300～400	2	4	2	8
400～500		8	2	10
500～600		6	4	10
600～700		4	2	6
700～800	1	5		6
800～900	1	3	2	6
900～1,000		2		2
1,000～1,500	1	3	3	7
1,500～2,000	1		1	2
2,000～2,500	1	1		2
2,500～3,000	1			1
3,000以上	1			1
計	10	47	27	84

表4は、体育協会の年間の平均予算額を、市と町村に分けて示したものであるが、市は町村の約三倍の予算を有して活動している。

四、年間予算について

したがって体育協会としては今後、これら未加盟の人々をどのようにして組織の中に加えていくかが課題となる。

表5 市町村別の予算規模

表5は、市町村別に予算規模がどのようになっているかを示したものである。これを見ると市町村によって、予算規模に大きな差のあることがわかる。図1・2は、体育協会の予算総額に占める財源内訳を市と町村に分けて示したものである。

図2 財源内訳(町村)

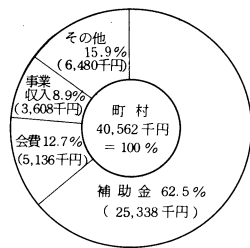
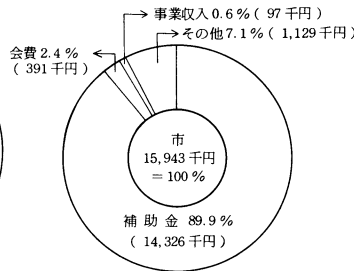


図1 財源内訳(市)



町村によってかなり大きな格差のある

地域スポーツの振興を図っていくための核となるのは、いうまでもなく市町村体育協会であり、その組織的活動によるものである。しかしながら、市町村によっては、組織づくりがじゅうぶんとはいえず、活動もやや不活発なところも見うけられた。したがって、これらの体育協会においては、今後どのようにして組織の充実と活動の活発化を図っていくかが課題となろう。

まとめ

また、予算に占める補助金の割合がどのようになっていくかを、市町村別に示したものである。

今後、市町村体育協会が、地域における自主的スポーツ団体としての機能をじゅうぶん果たし得るように、組織の強化充実においっそう努力すべきであろう。

次に、体育協会としての活動内容などのように組み立て、多様化する地域住民の潜在的スポーツ要求に、どうこたえていくかということも重要な課題となろう。

また、予算の内訳を見ると、補助金の占める割合も市が八九・九%、町村が六二・五%となっており、自主財源である会費及び事業収入等の占める割合は小さい。